

ANTENNA
01

全日本大学野球選手権大会2年連続ベスト8!

九産大硬式野球部

CONGRATULATIONS!



春季リーグ2連覇を達成し、喜びを爆発させる選手たち



硬式野球部が、全日本大学野球選手権大会で2年連続ベスト8に輝きました。九産大は、福岡六大学野球春季リーグで優勝。春季リーグ2連覇を達成し、6月8日(月)から東京ドームなどで開催された第64回全日本大学野球選手権大会に臨みました。

初戦は仙台大学と対戦。エース・高良一輝投手(経済学部経済学科3年・興南高校)が16奪三振の見事なピッチングを披露しました。さらに、安樂諒祐選手(経営学部国際経営学科3年・鹿児島工業高校)、池田幸樹選手(経済学部経済学科4年・宮崎学園高校)らが、タイムリーヒットを打つなど投打がかみ合い、3対0で

完封勝利を収めました。

6月9日(火)の2回戦は、昨年度の優勝校・東海大学と対戦。強豪校を相手に、4対0と快勝しました。初回、原國竜選手(経済学部経済学科3年・沖繩尚学高校)と原田拓夢選手(商学部商学科2年・長崎総合科学大学附属高校)のタイムリーヒットで、4点を先制しました。投手陣も先発の井手亮太郎投手(経営学部国際経営学科2年・九産大付属九州高校)から、伊藤奨太投手(経済学部経済学科3年・九州学院高校)、森川祐至投手(経営学部産業経営学科3年・熊本商業高校)とつなぎ、最後は高良投手が締めくくって、2戦連続の完封勝利となりました。

6月11日(木)の準々決勝は、上武大学と対戦。1対4で惜敗し、ベスト4進出はなりませんでしたが、2年連続のベスト8の成績を残しました。

全国大会出場に当たって、前田尚輝主将(経営学部産業経営学科4年・宮崎第一高校)は、「どんな形でも勝ちにこだわろうと選手同士で話して試合に臨みました。粘り強く、最後まで隙を見せない野球を目指しました」。高良投手は、「自分たちの野球を貫いて頑張りたい」と話していました。

試合は九産大キャンパス内のパブリックビューイングでも放映され、学生教職員が熱い声援を送りました。

全日本大学野球選手権大会2回戦。強豪・東海大学を相手に熱戦を繰り広げた



スタンドの応援にも熱が入る



全日本大学野球選手権大会準々決勝戦。对上武大学戦の様子



ANTENNA
05

学生たちが制作したアニメを学位授与式・入学式で上映

九産大の学生たちが制作したアニメーション「そうして、君は。」が、平成26年度学位授与式・平成27年度入学式で上映されました。

卒業生、新入生のために、オリジナルのアニメーションを作るといこのプロジェクトに参加した学生は、芸術学部を中心に経済学部、情報科学部、工学部の計25人。初めてアニメーション制作に取り組む学生も多い中、それぞれ役割分担を決めて取り組みました。

作品は、主人公の九産大生が、九産大キャンパスで成長しながら、社会に旅立つ姿をイメージしたものです。サイズで上映されたこの作品に、卒業生から「今回の経験を生かして、卒業制作をがんばりたいと思います」と意欲を語る向坊さん



サークル活動や主人公の夢の世界など多彩な場面が展開



業生からは、「自分たちのために作ってくれてうれしいです」と、喜びの声が聞かれました。

学位授与式で上映後は、入学式用にバージョンアップ。学部の違うキャラクター4人に加え、それぞれの学部での学びやサークル活動など、キャンパスライフの可能性をイメージさせる作品に仕上げました。

キャラクターデザインを担当した芸術学部デザイン学科4年の向坊歩さん(常盤高校)は、「良い経験になりました。全員の絵を同じタッチに統一するのは難しかったですね」と話しました。

ANTENNA
06

「第82回 毎日広告デザイン賞 学生賞」受賞

芸術学部 デザイン学科4年 野村 優美さん(香椎高校)、黒木 愛子さん(宮崎工業高校)



デザイン学科4年の野村さんと黒木さんが「第82回毎日広告デザイン賞」第1部/広告主課題の部で学生賞を受賞しました。

野村さんは、新潮文庫という課題に対して、夢中になるほどの本の面白さをシンプルにイラストで表現しました。「パッと見て面白いと思ってもらえる作品を目指しました」という作品は、思わず笑ってしまいうーモア漂う作品です。黒木さんは、日焼け



「授賞式で、たくさんクリエイターの話聞いたのは刺激になりました」と野村さん(左)。「考えるのは大変だけど、楽しい時間でした」と黒木さん(右)



黒木さんの作品 資生堂「アネッサ」10段カラー

止めを「白い女性は美しい」というコンセプトで、アピールしました。ひまわりの黒い部分を白く顔にした意外性のある作品です。

野村さんは、「将来はデザイン系の仕事に就いて、どんな人にも分かりやすいと思ってもらえる作品を作りたいです」、黒木さんは「皆が受賞を喜んでくれました。今後、誰かに喜んでもらえる作品を作りたいと思います」と、それぞれ目標を語りました。

ANTENNA
02

九産大が提供するテレビ番組「美の鼓動・九州」を放映



九州産業大学が提供している番組のご案内

美の鼓動
BI NO KODO KYUSHU
KYUSHU SANGYO UNIVERSITY PRESENTS
九州
毎週日曜日 11:45~ 放送 テレビ西日本(TNC)
九州のクリエイターを応援します。

九産大は、平成27年度に開学55周年を迎え、その記念事業の一環として、テレビ番組「美の鼓動・九州」の放映を開始しました。この番組は、芸術学部を有する総合大学としての特色を生かし、芸術家・クリエイターに焦点を当てています。番組制作・放送を通して、九州出身のクリエイターを応援し、九州の芸術・伝統工芸分野の活性化に貢献することを目指しています。

放送終了後の映像は、大学ホームページから視聴できます。

ANTENNA
03

情報科学部の学生が国際会議の開催準備・運営に参加

情報科学部



「会期中は、参加者からの問い合わせに英語で対応しました。英語ももっと上手になりたいと意欲が湧きました」と笑顔で話す金丸さん



会議の準備・運営に携わる学生たち

情報科学部と大学院情報科学研究科の学生が、プロのエンジニアと共に、国際会議「APRICOOT APAN 2015」の準備・運営に協力しました。

福岡市で2月24日(火)〜3月6日(金)まで開催されたAPRICOOT APAN 2015は、アジア太平洋地域のインターネット技術の研究開発・運用管理に関する国際会議です。国内外から約1,000人が参加しました。

学生たちは会場内で提供するネットワークの事前構築作業を担当。会議に先立ち、エンジニアとチームを組み、5日間かけて膨大な数のネットワーク機器の設定を行いました。また開催期間中はヘルプデスクとして参加者からのネットワーク等についての問い合わせに対応しました。

このプロジェクトに参加した情報科学部情報科学科3年の金丸侑賢さん(香住丘高校)は「ネットワークに関する知識不足を痛感したプロジェクトでした。でも、社会人の方と一緒に、最先端の機器を使って作業するのは貴重な経験でした。今後は、もっとスキルをアップしたいですね」と振り返りました。

ANTENNA
04

ウィークデー・キャンパス・ヴィジットを開催

九産大は、4月29日(水・祝)に、今年度第1回目のウィークデー・キャンパス・ヴィジット(WCV)を実施しました。

WCVは高校生が一般の大学生に交ざって実際の大学の講義を受講するプログラムです。大学の「普段の一日」を体験し、大学の学修内容や講義の進め方、講義態度などを理解することができるので、自分に合った大学選びの手助けになります。

九産大は昨年、九州で初めてWCVを導入し4回実施しました。今年度は、初回から全学部学科で開催し、県内6つの高校から約40人が参加しました。参加者はガイダンスを受けた後、二つの授業を受講。大学生とともに、熱心に授業や実習に取り組んでいました。

商学部のゼミナールの授業を受けた福岡女子高校の小島空さんと西村菜寛さんは、「大学ならではの、ゼミの雰囲気分かりました。大学生も優しく、楽しかったです」。博多高校の宇野涼太さんは「座学ではなく、グループワークで学修する醍醐味を味わうことができました」と感想を話していました。

今後は、7月20日(月・祝)、9月21日(月・祝)、10月12日(月・祝)、11月23日(月・祝)に開催します。



大学の授業に熱心に取り組む高校生たち



大学生が高校生を指導する場面も

ANTENNA
10

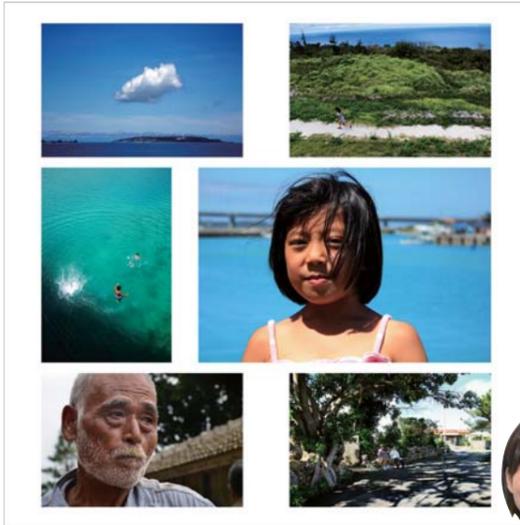
芸術学部の学生が「JPS展」で入賞

芸術学部 写真映像学科3年 幸喜 ひかりさん(浦添工業高校)、2年 比嘉 緩奈さん(浦添工業高校)

写真映像学科3年の幸喜さんと同学科2年の比嘉さんの共同作品「風染みて」が、「第40回2015 JPS展」で公益社団法人日本写真家協会会長賞を受賞しました。

公益社団法人日本写真家協会(JPS)が主催するこの公募展は、プロ写真家の登竜門であり、歴代の入賞・入選者から多数のプロ写真家が生まれています。今回2人の作品は、応募人数2056人、応募作品6861枚の作品の中から、選ばれました。

受賞作は、2人の故郷、沖縄を舞台



CONGRATULATIONS!



受賞作「風染みて」

「故郷を舞台にした作品で受賞できてうれしい」と喜びを語る幸喜さん(左)と比嘉さん(右)

にした組み写真です。「土地は人の生活の一部であり、人は土地の空気を体いっぱい吸い込んでいます。それぞれが持つ雰囲気、風になぞらえて表現したい」という想いが詰まった作品です。

幸喜さんは「周りの方からのアドバイスでより良い作品をつくることができ、感謝しています」。比嘉さんは「制作の過程でお互いの作品への視点を改めて気付かされ、とても刺激になりました」とそれぞれ感想を話しました。

ANTENNA
07

芸術学部学生が弥栄神楽座で使用される天冠を制作

芸術学部 美術学科3年 青木 北斗さん(福岡工業高校)、伊東 佐知子さん(佐賀北高校)

美術学科の新啓太郎講師と、同学科3年の青木さん、伊東さんが、弥栄神楽座で使用される天冠を制作しました。

弥栄神楽座は射手引神社(福岡県嘉麻市)で、地域の方々が親しみやすく、長く受け継がれる神楽を目指して新たに立ち上げられたものです。

天冠は、神楽を舞う巫女がかかる冠です。銅製の冠には、神楽のテーマに合わせ、唐草模様の透かしが入った太陽をイメージする真鍮の飾りを施しました。



日頃の学修を生かし、短い制作期間で、見事な天冠を仕上げた伊東さん(左)と青木さん(右)

神楽を舞う巫女の頭上に太陽をイメージした天冠が輝く

完成した天冠は、射手引神社で、5月17日(日)に行われた初奉納演舞で、初めて披露されました。

青木さんは「制作にあたっては、大学で学んだ技術の応用だけでなく、新たに学ぶ技術もあったので、とても良い経験になりました」。伊東さんは「制作期間が限られていたので、間に合うかどうか不安でした。地域の多くの方々に見ていただき、うれしく思います。頑張った甲斐がありました」と、それぞれ感想を話しました。



天冠制作中の様子。真鍮の板に細かい模様を彫っていく

ANTENNA
11

「第49回福岡市美術展」福岡市長賞受賞者

CONGRATULATIONS!

作品タイトル	受賞内容	学科・学年	氏名・出身高校
揺	福岡市長賞 (日本画部門)	大学院 芸術研究科1年	内藤 清加 (太宰府高校)
気高き未亡獅子	福岡市長賞 (彫刻部門)	大学院 芸術研究科1年	原谷 明弘 (真嶼館高校)
美しきもの一今	福岡市長賞 (工芸部門)	2015年3月 芸術学部 美術学科卒業	野田 光 (大牟田北高校)



内藤 清加「揺」



原谷 明弘「気高き未亡獅子」



野田 光「美しきもの一今」

ANTENNA
09

毎日100円で朝食を

今年度も、「100円朝食」を実施しています。

これまで2年間、期間限定で行ってききましたが、今年度は、授業実施日は毎日、中央会館1階の学生食堂で、午前8時30分～午前10時まで実施。100円(通常260円)でおいしくて栄養バランスのとれた朝食を提供します。メニューは和・洋の2種類。学生限定100食です。

朝食を食べ、元気に楽しい毎日を送りましょう!



洋朝食

和朝食

栄養バランスを考えた朝食。限定100食なのでお早め!メニューは週替わり!

ANTENNA
08

第36回学文祭「Colorful 学文彩」



プロレス研究会のプロ顔負けの試合に観客も大興奮!



学術文化会サークルが日頃の活動の成果を発表する学文祭を、5月25日(月)～5月31日(日)に開催しました。

今年のテーマは「Colorful 学文彩」。全28の学術文化会サークルが持つ個性というカラーを学文祭で

表現することで、九産大を活気のある華やかなものにしたという思いを込めています。今年も、作品の展示やお茶会、たくさんさんの模擬店、多彩なステージなど、盛りだくさんの内容で、多くの来場者が楽しんでいました。